

# としょかんだより 第136号

## 〈館蔵資料紹介〉

### 愛国第115号(遍照)・第85号(金剛)の絵葉書

本学総合学術機構課長 木下浩良



愛国第115号(遍照)



愛国第85号(金剛)

戦前から終戦にかけて、わが国では一般市民や企業・団体などからの献金により献納された、愛国号と称する陸軍の戦闘機・高射砲・戦車がありました。

愛国第1号の戦闘機の献納は、昭和7年(1932)1月のことでした。これに遅れて、海軍へも戦闘機などが、一般より献納されました。海軍の戦闘機を報国号と称しました。愛国号・報国号の献納は全国に広まります。愛国号の戦闘機は終戦まで、7000機以上が献納されています。

真言宗でも、大阪市福島区<sup>うらえしやうてん</sup>の浦江聖天の名で親しまれている<sup>りやうとくいん</sup>了徳院貫主の<sup>くさかきぎぜん</sup>日下義禅僧正(東寺真言宗第253代管長)が中心となって密教護国団が組織され、愛国号の募金活動が行われました。そして、昭和9年(1934)6月15日、大坂城東練兵場において、同団による戦闘機と高射砲が献納されたのでした。この年は、弘法大師御入定千百年御遠忌にあたります。密教護国団では、この記念の年に合わせて愛国号の献納を計画したのでした。

ちなみに日下義禅僧正は、現在の本学学生サポート課・宗教教育課の両課課長の日下義真師の遠縁に当たります。

献納された戦闘機は、7.7 mm 機銃×2〜3 と爆弾最大 500 kg を武装する九三式単発軽爆撃機で、「遍照号(愛国第115号)」と称され、高射砲は高度 2000m以上の敵機の射撃を可能にした八八式野戦高射砲で、「金剛号(愛国第58号)」と称されました。

この愛国第115号(遍照)・第85号(金剛)の献納を記念して出された絵葉書が、掲載のものです。写真ではなく、着色の絵で描かれています。

この2つの絵葉書には「献納器命名祝禱啓白文」が付されています。その文中末に「此の砲機の向ふ處、<sup>がんめい</sup>頑冥(ものの道理がわからないこと)を<sup>しやくぶく</sup>折伏(迷いを覚まさせる)し、<sup>ふれい</sup>不霊(精神がないこと)を<sup>ようちやう</sup>膺懲(征伐してこらしめる)して、<sup>こうみやうかがや</sup>光明耀く平和境を開き、群衆をして其の堵に<sup>あんじ</sup>安んじ(安楽に暮らし)、其の業を<sup>ごこくりんにん</sup>務めしめ、以て護国利人(国の平安を守り、自分の利益を計らず人のために尽くすこと)の本誓(衆生済度の誓願)を<sup>せんやう</sup>宣揚(広く世の中に示す)せん。仰き願くは<sup>あお</sup>両部会海会の諸尊大日本国中大小神祇諸天善神並に高祖大師本誓を<sup>ほんせい</sup>還念(仏が衆生の事を思っていること)して、護国利人と世界平和の為に我が<sup>へんじやうごう</sup>遍照号と<sup>こんごうほう</sup>金剛砲を加被護念(神仏の加護と、神仏が心にかけて守ること)せられんことを」と記されていて、「遍照」「金剛」の愛国号献納の目的が実は「世界平和」であったことが伺えます。

日本が国際連盟から脱退したのが昭和8年(1933)で、2.26事件が起こるのが同11年(1936)。日中戦争が勃発するのが、同12年(1937)のことです。世情は軍靴の音が響き渡り、太平洋戦争へと向かっていたのでした。

〈ご注意ください〉

新型コロナウイルスの感染拡大により、開館予定を変更する場合があります。その際は大学の掲示や図書館HPにてお知らせします。

# 心のふるさと「高野山お帰り」キャンペーン



高野山出身です

高野山のお寺で修行していました

高野山の学校へ通っていました

2020年 10月開館予定表						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2020年 11月開館予定表						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

	9:00-18:30		13:00-18:30
	9:00-17:00		13:00-17:00
	休館日		9:00-20:00

こんな人たちを対象に高野山への宿泊や同窓会のサポートが受けられるキャンペーンが開催中です。さらに先着で高野山世界遺産きっぷや高野山内クーポンのご利用が可能です。受付申込は2020年9月18日(金)~2021年2月28日(日)まで。詳細は高野町観光協会【TEL:0736-56-2468】までお問い合わせください。



## 高野山の魅力 再発見

GoTo トラベルキャンペーンに合わせて各地で観光地の支援が始まっており、高野山でもキャンペーンが開催されています。閲覧室では高野山に関する図書の一部開架しています。これを機に高野山の魅力を見つけてみましょう。

書名	請求記号	登録番号
高野山文学夜話	466/コ/331	000162481
お大師さまの息	466/コ/349	000142196
空海と高野山	466/ク/5	000139704
南海電車「天空」で行く高野山への旅	466/ナ/6	000139705

**発行所**

〒648-0280  
和歌山県 伊都郡高野町  
高野山 385  
高野山大学 図書館閲覧室  
TEL: 0736-56-3835  
FAX: 0736-56-5590  
E-mail: service-lib@koyasan-u.ac.jp  
twitter: @koyasanlib

## 新着図書紹介



書名: 神社仏閣 SHINTO SHRINES AND BUDDHIST TEMPLES TOKYO ARTRIP

請求記号: 19-0/T/9

登録番号: 000169215

仏像美術、お参りを楽しむといった様々な観点からみる東京のおすすめ神社仏閣を紹介している本で、日本語と英語の両方で書かれているバイリンガルガイドブックです。神社仏閣の豆知識や年中行事といったコラムも収録されています。

(編集後記)  
夏の暑さが嘘のように高野山は秋らしく肌寒い日が続いています。風邪をひかないようご注意ください。(吉)

## 返却忘れていませんか？



長期貸出の返却期限は9月23日です。長期貸出をしていない方でも図書を延滞している方は至急返却をお願いします。